

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	市民防災部長 永野英樹
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	5-(1) 防災・安全	施策の方針	5-(1)-④地域防犯力の充実・強化
目標とするまちの姿	市民の防犯意識は高く、積極的な地域防犯が図られています。地域防犯力の向上により、刑法犯認知件数は、継続して減少傾向を保っています。 また、犯罪が発生しにくい環境整備が進み、女性、子ども、高齢者及び障害者を含め、だれもが安全で安心して暮らすことができるまちづくりが進んでいます。			
主な取組	<p>(1)地域防犯力の向上 一人ひとりが防犯に対する意識を持つよう、防犯啓発に努めます。子どもの安全確保のため、地域全体で見守るなどの活動を推進します。地域における様々な取組に、より積極的なアプローチを行い、その支援に努めるほか、ソーシャル・ネットワーキング・サービス等の多様な媒体を活用した犯罪発生状況や防犯対策等に関する情報提供に努めます。</p> <p>(2)防犯に適したまちづくりの推進 犯罪のない環境づくりを目指し、防犯の観点から、公共施設の管理や住環境づくりに努めるほか、自治・町内会等が行っている防犯灯の維持管理等への支援を継続します。また、社会情勢の変化や環境に配慮し、電力消費の少ない省電力型防犯灯への転換を促進します。</p> <p>(3)自主防犯活動の体制整備 市民、市、警察及び関係機関等が連携し、協力しながら、地域ぐるみの防犯活動を推進します。</p>			

1 成果指標

成果指標①	市内の犯罪発生件数					出典	神奈川県警資料		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
平成30年12月	件	目標値	4.4	4.3	4.2	4.1	4.0	3.9	
4.7件/千人		実績値	3.1	2.28					
		達成率	141.9%	188.6%					
成果指標②	市民による自主防犯活動団体の組織率(自治・町内会数に対する自主防犯活動団体組織等)					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年5月末	%	目標値	72.0	73.0	74.0	75.0	76.0	77.0	
70.9%		実績値	68.5	79.6					
		達成率	95.1%	109.0%					
成果指標③	身近な犯罪情報等の提供を行う鎌倉市防災・安全情報メールの登録件数					出典	所管課調べ		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年8月30日	人	目標値	22,000	23,000	24,000	25,000	26,000	27,000	
22,063人		実績値	25,214	25,040					
		達成率	114.6%	108.9%					

成果指標④	交通事故死傷者数					出典	所管警察署年間交通事故死亡事故抑止目標		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和元年12月末	人	目標値	2	2	2	2	2	2	所管は都市計画課
2		実績値	6	3					
		達成率	33.3%	66.7%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	75,749	78,888				
人件費	29,225	27,744				
総事業費	104,974	106,632				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

市民防災部

成果指標のうち、自主防犯団体数については、自主的な防犯活動に対する取組みを促す内容をまとめた安全安心まちづくり推進ニュースを自治会・町内会に積極的に送付する等周知を図ったこともあり、令和2年度に下降していた達成率を回復することができた。

一方、安全安心情報メールの登録件数については、目標値を上回ってはいるものの、令和2年度と比べると登録者数の減少が見られた。ニーズに応じた配信内容を精査し、制度の周知と併せて積極的な情報発信を行っていききたい。

市内の犯罪発生件数は、令和2年度に引き続き減少しており、目標とすべきまちの姿に近づいているといえる。引き続き、関係機関との連携を強化して、地域ぐるみの防犯活動を推進していききたい。

(2)今後の方向性

市民防災部

地域における「自らの安全は自らが守る。」「地域の安全は地域で守る。」の意識の醸成を図るために、コロナ禍において有効な防犯対策や周知を行い、地域防犯力の向上に資する支援を行っていききたい。

また、特殊詐欺被害が高止まりの状態であるため、警察・教育委員会等と連携を強化し、市民への迅速な情報提供に努めるとともに、対策補助事業の周知に努めていききたい。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
重	市民-04	安全・安心まちづくり推進事業		78,888	27,744	106,632	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

市民防災部

積極的な地域防犯を推進する施策を講じたことで市内の犯罪発生件数が減少傾向にあり、施策において目標とするまちの姿へ近づきつつあると考える。